



十二支の由来

ある時、神様が動物たちを集めて、「お正月の朝、早く来たものから12番目の者をその年の大将とする」と、言いました。猫は、うっかりしていたので、ねずみに尋ねると、ねずみはわざと、次の日を伝えました。ねずみが牛のところにいくと、牛は、「歩くのがゆっくりだから早く出かけよう」というので、ねずみは牛の背中に乗りました。

朝になり、神様の御殿の門まで来ると、ねずみは牛の背中から飛び降りて「私が一番！」とちゃっかり言いました。そして牛が2番。次々とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いのししと順番に入り、その年の干支にしてもらいました。

猫はというと、次の日に行っても誰もいないので、門番に尋ねると、「顔を洗って出直してこい！」と言われました。猫が顔を洗うしぐさをするようになり、ねずみを追いかけるのはこの時からだそうです。



鏡開き

1月1日は、鏡開きです。お正月にお供えしたおもちを割り、おしるこなどにさせていただきます。おもちを割るときに、一年の健康をお祈りすると元気に過ごせると言われています。



今年度の行事は、何かが違う！！

新年、あけましておめでとうございます
昨年もみんなの大好きな広島東洋カープは、春から快進撃を続け、球団初そして、セリーグでも2球団目の3連覇を成し遂げましたが、今年はチームの柱だった新井選手や丸選手が抜けてしまいます。でも新人選手の入団や他球団からの移籍など新たな出会いがあり、期待と希望に満ちている新しいカープを見ていると、勇気が湧いてきます。私自身、今年もすいこうの子どもたち、保護者の皆さんとの出会いに感謝しながら日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

さて、すいこうが属しております微妙グループでは、職員の資質向上を目的とし、一人ひとりの子どもたちへより質の高い保育を行うため、さまざまな園内研修を行っています。当園も同様で、昨年12月14日に公開保育を行いました。姉妹園から30名近くの職員、外部より広島県教育委員会教育アドバイザー米神博子先生、忠海の聖愛幼稚園園長井原忠邦先生、みのり愛児園園長福島ニール先生にもお越しいただき、学びの場を設けました。今年度のすいこうは、子どもたち一人ひとりの発達に合わせたあそびの環境づくり、一人ひとりのやりたい気持ちで満足できるよう、主体的なあそびの在り方について取り組んできました。当日は、赤ちゃんから年長さんまで1時間近く子どもたちが遊んでいる様子を見学されました。乳児組さん年少さんは、空き箱や新聞紙などの身近な素材や絵の具を使って1時間近くあそびが継続し、ごっこあそびをしていた年長さんは、姉妹園の保育者に「お団子いかがですか？」と声をかけ、あそびの中に引き込んでいました。こま回しの忍者修行をしていた年長さんは、こまの回し方を見ていた保育者に教えてあげたりしていました。その様子をご覧になった米神

先生は、「どのクラスも子どもが主体的にあそびを展開し、遊んでいる姿の中に広島県が乳幼児期に育てほしい5つの力『気づく力・考える力・うごく力・話す力・人と関わる力』が育まれている」と話してくださりととても嬉しく思いました。

今回の公開保育は、特別に目新しいあそびの環境を用意したわけではなく、日頃のあそびを展開したものです。今まで行ってきた運動会や作品展なども日々のあそびを展開させてきました。例えば作品展では、個人作品はありませんでしたが、ホールの作品会場では、子どもたちが日々、自ら楽しくあそびに取り組んだ様子が見え、子どもたちも保護者の方も楽しい時間を過ごしていただきました。公開保育も作品展から繋がり、そのあそびは現在もさらに展開し、年少さんの見立てあそび、年中さんのお菓子の家とごっこあそび、年長さんのおばけ屋敷は、発表会へとつながっていきます。行事は決して特別なものではなく、日々のあそびの延長上にあるものです。発表会では、子どもたちが自分で選んだ役を自分なりに表現し、十分楽しんでくれることでしょうか。保護者の方は、「もっとせりふの多い役だといいのに…」とか「ちょっぴりしか出番がなかった。」などと思われるかもしれませんが、どの役もとっても大切な役であることは、子どもたち自身を感じているのです。そして内容も日々のあそびと繋がっていることで、表現することが楽しくて仕方ないのです。子どもたちの笑顔が溢れ、楽しみにしている発表会、主体的に取り組んでいる様子、そして自信をもって表現する様子に心を馳せ、しっかり褒めて、応援していただければと思います。そして、「今年の発表会は、何かが違ってとっても楽しい。」と思っていただけでしたら最高です。

園長 上原玲子

七草粥

お正月を過ぎて、7日の朝食に七種類の野菜を入れた粥を食べます。早春の野山に咲く若草を食べることによって、自然界から新たな生命力を得ることができ、無病息災で長生きできるといわれています。

また、七草には、消化を良くする成分やビタミンCが含まれているので、お正月のご馳走で弱り気味の胃を少し休めようという知恵から始まったともいわれています。

春の七草って？

せり・なすな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ



インフルエンザ・下痢・嘔吐にご用心

寒さも厳しくなるこの時期、インフルエンザ特に今年は、ノロウイルスによる下痢・嘔吐にかからないように気をつけましょう。かからないためには、予防から！！

何といっても、手洗い・うがいは、ウイルスなどの侵入を防ぐには、手軽で一番よい方法です。効果的なうがいをしましょう！



- 1. うがいのタイミング
外から帰った時
飲食後
のどに不快感がある時

- 2. うがいの基本
ぶくぶくうがい
口の中に残っている食べかすや
バイ菌を流しだします。
ガラガラうがい
喉の奥に付着したバイ菌を流しだし、喉を潤おし、不快感を抑えます。

